

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	(福)誠信会 放課後等デイサービスみらい		
○保護者評価実施期間	令和8年1月27日		～ 令和8年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数) 16名
○従業者評価実施期間	令和8年2月1日		～ 令和8年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	丁寧な個別支援と保護者支援が充実している。	個別支援計画にもとづいた面談、日々の連絡帳やインスタグラム等を通じた情報発信を行っている。また、保護者向け勉強会や親子参加型イベントも定期的に開催している。	こども、保護者のニーズに応じた勉強会やイベントの開催を継続し、家族支援の質をさらに高める。
2	職員の資質向上に関する取り組みが充実している。	正規・パート職員問わず研修参加を促進している。また、定期的なケース検討会や内部研修の中で支援の充実、統一を図っている。	積極的な研修参加、ケース検討、内部研修等を継続して行っていく。
3	適切な環境整備がされ、利用児童、保護者からの満足度が高い。	清潔で心地よい空間づくりを徹底している。目的にあった環境設定や中庭など、こどもたちがのびのび過ごせる環境を維持している。	成長に合わせた空間作りや、こどもたちが活動しやすい環境作りの工夫を継続し、より主体的な活動を促す。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常時訓練の周知とバリエーション	避難訓練が一部の曜日に偏ったり、内容も画一的になりがちであり、保護者への周知も充分ではなかった。	曜日を分散させた実施訓練の実施と、その様子を保護者にも積極的に伝え、安心感を高める。
2	活動プログラムのマンネリ化防止	プログラムが固定化している部分がある。	こどもの興味関心に基づき、外部講師を招いたり、季節行事、外出などのさらなる充実を図り、選択肢を広げる。
3	地域交流の機会の不足	外出の機会を増やし、交通ルールや買い物体験などしながら地域との交流を図っているが、事業所として地域に向けた取り組みがない。	こどもたちにとって必要な地域交流とはどういったものかを検討し、保護者と共有しながら企画していく。